

経営体の概要

- ・所在地：栃木県下野市
- ・経営体名：個人経営
- ・栽培作物・作付面積：水稻・3.2ha、いちご・51a
- ・労働力：家族労働3名、臨時雇用10名

導入技術

・可変施肥田植機（（株）クボタ製）

KSAS営農支援システムと連携し可変施肥マップにより施肥量を調整

ほ場内の施肥投入量をメッシュ（20m・15m・10m・5m）ごとに設定可能

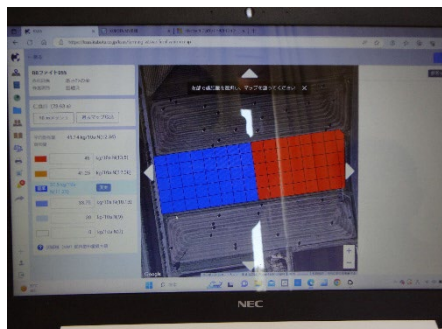
田植作業は計画データを受信し、自動で可変施肥作業を開始

導入経緯

- 共同利用者の多くが、水稻以外の主作物生産に取り組んでおり春作業の労力競合が課題であった。
- そこで田植え作業の省力化を目的に、令和4年度にスマート農業技術機械導入支援事業（共同利用タイプ）を活用し、可変施肥田植機を導入した。

取組の特徴・効果

- ほ場ごとの施肥改善について、ほ場内の点（メッシュ）での対応が可能となり、生育ムラの解消や施肥量のムダをなくし、収量が約1割増加した。
- 可変施肥機能付き側条施用田植機による、春作業の省力化に活用。
- ほ場マップをスマートフォン等により利用者間で共有することで効率良く施肥作業が可能。
- 今後は、新たな借地や作業受託地などにおいても、機能を活用した省力・低コスト化生産に取り組む。



ほ場毎に可変施肥マップを作成



ほ場内で作業計画を受信し施肥量を増減